



創業のビジョン●「農工一体」と「伊那谷に太陽を」

KOAは、かつて農村というコミュニティが崩壊していく中で、養蚕農家に生まれ育ったひとりの青年が農村の生活基盤づくりと安定した暮らしをこの地で実現しようと興じた会社です。以来、創業者の「伊那谷に太陽を」という夢をかなえるために、「農工一体」というビジョンをめざし、経営が実践されてきました。お百姓がお百姓として暮らしていける環境をつくる、それが創業当時の時代の声でした。

企業ミッション●KOAを支える「5つの主体」との信頼関係構築

そうした先人の意志を引き継ぎ、また今の時代の声に耳を傾けたとき、KOAは、株主様、お客様・お取引先様、社員・家族、地域社会、地球との信頼関係の構築に努めることを企業のミッションといたしました。KOAの経営は株主様をはじめとして、皆様とのご縁に恵まれ、お力添えをいただいております。

KOAは皆様とお近づきになれたことに感謝し、お付き合いの中で学ばせていただきながら、これらすべての主体にとっての企業価値を高めるため、企業活動に取り組んでいます。



企業経営の価値観●「循環・有限・調和・豊かさ」

企業という存在が、過去にないほど大きな影響力を全世界的に、そして地球規模でもつに至った現在、的確な時代認識の上に立った経営・企業活動が求められていると私たちは考えます。20世紀は人口爆発に代表されるような「拡大・無限・征服・利便性」といった人類本位のコンセプトの時代であり、そうしたことのために人類のみならず地球上のあらゆる存在が存続の危機を迎えているのではないのでしょうか。

そんな時代の切なる声に対して、私たちは「有限」の考えに立ち、人類を生かしてくれている地球環境とそこに生を受けたすべての生きとし生けるものとの調和を図り、拡大から循環、利便性から調和の中での豊かさを求めるべきではないかと考えます。

KOAは企業経営の価値観を「循環・有限・調和・豊かさ」に置き、「地球あっての人類、人あっての経営」という空間（場）を、企業活動の中にできる限り設ける努力をしています。さまざまな人のご縁あってこそKOAの経営が成り立つことを忘れずに、またその人類を生かしてくれている地球との調和を念頭にこれからも企業経営を進めてまいります。



『KOAらしさ報告書』について

この「KOAらしさ報告書」は、私たちのCSRに関する取り組みをお伝えするとともに、その背景にある「KOAらしさ」について、皆様にも感じていただけることを願って作成しております。

KOAでは、何かを選択するとき、進むべき道に迷ったとき、「どちらがよりKOAらしいか」が重要な判断基準となる場合があります。

創業以来、変わることはないKOAらしさもあれば、5つの主体の皆様とのおつきあいの中で学ばせていただくことによって、変わってきたKOAらしさもありません。大切なものを守り続けること、新しいKOAらしさを創っていくこと、その両方がKOAの企業価値を高めていくためには必要であると、私たちは考えています。

目次

- P2** 投資家様
ずっと応援したくなる会社
- P3** お客様・お取引先様
厚みと差異のある価値の提供
- P4** 社員・家族
どこよりも明るく楽しい職場をつくらう
- P5** 地域社会
伊那谷に太陽を
- P6** 地球
まあ〜るい地球の変化の中で

ずっと応援したくなる会社

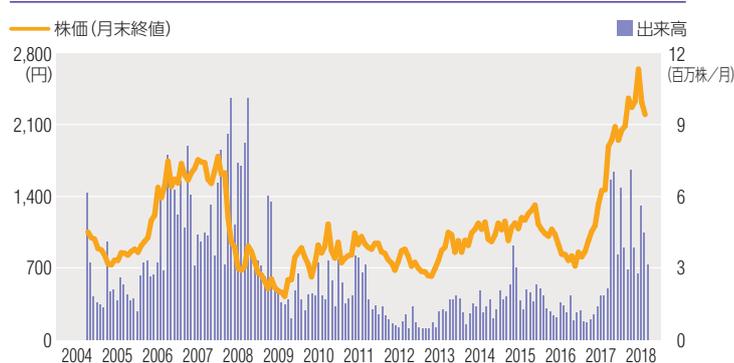
株主である投資家の皆様にもまずお約束すべきは、事業活動による収益を継続的に還元することです。KOAは、ROE 8%を目指す中期経営計画の実現を目標に置いて、将来に向けた投資を積極的に行い、利益率を長期持続的に高めてまいります。

また、収益以外の面でも将来性について継続的に期待でき、末永く応援していただける会社であるために、正しい倫理観に基づいた経営を行うとともに、あらゆるステークホルダーとの間に信頼関係を築き、果たすべき責任を果たしてまいります。

配当金および配当性向の推移



株価および出来高の推移



投資家様の声



さわかみ投信株式会社
取締役最高投資責任者
草刈 貴弘 様

「私たち、さわかみ投信は、一般生活者のための財産づくりをお手伝いする投資会社です。長期投資という手法を取るため、応援したいと思える会社、例えば私たちの生活の中で必要不可欠なものを提供する事業を行っているような企業が、主な投資対象になっています」

「抵抗器はおそらく将来もなくなることはないでしょう。世界的に自動化が進み、センサが増えてくると、高精度・高品質な抵抗器の需要が増えるはずで、そういった需要に適正な価格で応えることができるKOAは、投資としての派手さはないかもしれないけれど、世界の経済を支える企業だと見ています」

(インタビューを収録した動画をKOAホームページよりご覧いただけます。)

① 配当性向

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと考えており、今後の事業展開への対応を図るための必要な内部留保を確保しながら、安定的かつ継続的な株主還元を努めることを基本方針としております。

配当につきましても、安定的かつ継続的に実施してまいります。なお、配当性向は30%前後を意識しつつ、その上で、株価水準や資金の状況等を総合的に勘案し、必要に応じて機動的に自己株式の取得等を行ってまいります。

② 株価

固定抵抗器のリーディング・カンパニーとしてこれまで培ってきた技術力と新たな市場を切り拓く開発力、そしてさまざまな社会的価値創造の活動などに対する多面的な評価が、株価に適正に反映されるよう努めてまいります。

③ ROE

ROE 8%を目指す中期経営計画を策定し、品質・信頼性を重視する市場を中心に高付加価値製品を提供し継続的に競争力を高めるとともに、イノベーションの動向を予測し、そこで必要とされる技術や製品開発に経営資源を投入し、お客様とともに新たな価値を創造する活動を進めております。

ROE：自己資本利益率

ROE (%) = 当期純利益 ÷ 自己資本 × 100

厚みと差異のある価値の提供

利益率を長期継続的に高めるためには、競争力を高めること、すなわち付加価値を高めることが求められます。KOAは、その製品、サービス、提案力等について、他には真似できない厚みや深みのある価値を提供します。

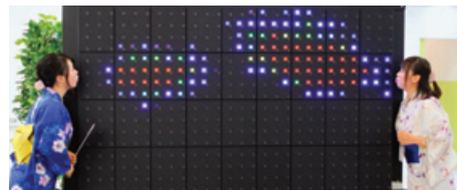
KOA製品は、車載ビジネス、センサ用途などで特に強みを発揮しており、今後も当社の主力である固定抵抗器市場は活発な動きが予想されます。今後は、お客様とともに次のマーケットを「共創できる研究開発型企業へ」と進化してまいります。

新たな価値の創造へ



Windgraphy ～風の見える化～

温度センサおよび風速センサ技術を応用して、空気の流れを可視化する製品を開発しています。多くのお客様とさまざまな活用策を検討中です。



風の強さと方向・分布をリアルタイムに見せるLEDパネル



パネルが受けた風の動きを風船の動きで表示

④ QCD (品質・コスト・納期)

KOAでは製品、サービスのみならずあらゆる業務のQCDを、「一箇一個が私の保証です」を合言葉に徹底的に管理し、常に改善に努めています。

一箇とは、一つ一つのプロセス（個々の仕事の集合したもの）、一つ一つの仕事、一つ一つの設備、一つ一つの動作を表します。又、一個とは、一つ一つの製品を表しています。この“一箇一個”という字は、お客様に満足してもらうための、全ての一つ一つを数える意味を含めて用いています。

⑤ 提案力 (技術・新製品)

お客様にとって価値ある企業であり続けるため、KOAがその歴史の中で培ってきた材料技術、加工技術、評価技術といったさまざまな基盤技術を深掘りし連携させ、先端研究機関やパートナー企業様とのオープンイノベーションによって、お客様と共に創る新たな価値へとつなげていきます。

⑥ 事業継続リスク対応

想定される大地震等の災害に際しては、

- ①従業員・家族の安全を最優先
- ②地域社会への支援
- ③組織的対応で生産能力を速やかに回復

を基本方針とし、事業への影響を最小限にとどめるための事業継続計画 (BCP) を策定しています。

どこよりも明るく楽しい職場をつくろう

競争力、稼ぐ力の源泉は、人にあります。設備など形のあるノウハウもありますが、本当の強みは、社員一人ひとりの中にある学びと経験の蓄積です。

KOAは、創業者の遺訓として人員整理を戒め、「どこよりも明るく楽しい職場をつくろう」を社是とし、社員と社員を支えるご家族の皆様が、KOAの社員でよかったと思っていただけるよう、健康で安心して働ける職場づくり、能力を一層高めるための人事・教育制度の整備などに努めています。人への投資は、競争力向上の鍵です。

社員と家族の安心のために

KOA健康保険組合では、社員とご家族の皆様が、安心して元気に暮らしていただくことができるように、健康づくりにつながるさまざまな取組みを進めています。

特定健診受診率の推移



むし歯がない社員数の推移



社員・家族の

特定健診受診率95.9%

社員自身の受診だけでなく、社員からご家族にも受診をすすめることで、ご家族も含めた特定健診受診率は、全国平均を大きく上回っています。

むし歯ゼロ活動

社員のむし歯をゼロにすることを目標に、むし歯のある人への歯科受診を積極的に働きかけてきました。治療した人を含め、むし歯なしの社員は年々増え続け、今ではこの活動はすっかり定着しています。

プラチナくるみん

「子育てサポート企業」として2017年4月に「プラチナくるみん」を取得して、2005年より取り組んできた両立支援制度のさらなる理解や浸透を一層進めるため、次のようなことに注力しています。

- 男性社員の育児休暇制度の浸透と取得実績の向上
- 女性社員の育児休業の高レベルな取得状況を維持継続
- 3歳から小学校就学前の子どもを育てる社員を対象とした短時間勤務制度の利用促進
- 女性社員が活躍できる環境づくりと動機づけ

長野県労働局長より、子育てを積極的にサポートしている企業として認定を受けています。

(愛称:「プラチナくるみん」マーク)



⑦ 安全・安心な職場環境

労働災害防止のための安全衛生活動をグループ丸となって進めています。また、出産・育児・介護などの事情で一時的に職場を離れても安心して復帰できるよう、さまざまな制度で支援しています。その取組みが評価され、2010年に長野県の「社員の子育て応援企業知事表彰」を受賞しました。

⑧ 処遇 (給与・賞与)

めまぐるしい環境変化の中で企業の成長と発展を持続するためには、社員一人ひとりの意欲と能力向上が必要不可欠です。そのために1996年に従来の年功序列重視の人事制度から能力・成果主義を中心に据えた制度への改革が始まりました。これにより、KOAの人事制度は、終身雇用は守りながら、年齢・性別などに関係なく、自ら能力を高め成果を上げた人が評価され、より高い処遇が得られる制度へと変わりました。

⑨ 働きがい (自己実現・教育研修)

KOAで働く者にとっての誇りである企業風土、文化を、大切に守り伝えていくために、「KOA物語」という研修を行っています。これまでに1,700名を超える社員が受講し、KOA創業以来の歴史に込められた想いを学んでいます。

伊那谷に太陽を

KOA創業者は、伊那谷で電子工業の産地化を果たし、地域における人と土地、人と風土、人と人とのつながりを保ちながらふるさとの発展を期すべく当社を創業しました。「伊那谷に太陽を」とはそのスローガンです。

KOAの歴史は、たゆまぬ改善活動の歴史であり、そのノウハウを継承する社員は、多くが地域からの雇用によります。これは創業の地のみならず国内外の拠点すべてで同様です。その恵みを資本とし継続的に雇用を生み、一方で経済的文化的な還元でも地域とのご縁を深めることは、強いものづくりを維持します。

さんぶう 三風の会

信州伊那谷は、南アルプスと中央アルプスに抱かれた美しい場所です。また、昔からこの地に住んだ人たちが織りなしてきた暮らしと文化があります。それらがかたちづくる伊那谷らしい「風土」「風景」「風格」を大切に守り伝えていくために生まれたのが「三風の会」です。伊那谷への誇りを次世代に継承していきたいと思う皆様とともに活動しています。

●主な活動内容

三風の会がモデルラインとして「伊那谷風土記街道」と名付けた伊那西部広域農道の沿線には未来に残したいビューポイントがたくさんあります。それを阻害する看板の撤去をお願いしたり、三風モデルのデザインマニュアルに準拠したものへの掛け替えを推進しています。



KOAに設置した三風モデル看板



三風モデルによる看板の集合化

郷土愛プロジェクト ～ 県立歴史館・KOAの日～



長野県立歴史館（千曲市）

上伊那の産官学でつくる「郷土愛プロジェクト」では、子供たちにふるさとをより知ってもらおう新たな試みとして、長野県立歴史館（長野県千曲市）とタイアップして、長野県の歴史や文化を知る「企画展」と、地元企業の紹介展示を併催する「歴史館・パートナーの日」を設けました。

その第一弾「県立歴史館・KOAの日」では、「日本の博物館の父」と称される飯田出身の田中芳男展を開催しました。また、歴史館ロビーではKOAの社史や創業者の人物史、製造している「抵抗器」の紹介などを行い、招待した子供たちに説明しました。



創業当時のKOAについて説明を受ける子供たち

⑩ 地域からの採用

地域における雇用創出はKOA創業当時のミッションのひとつです。それには地域での優秀な人材の育成と、その人材が活躍できる魅力的な企業の両輪が必要です。伊那谷のものづくりを支える人材育成の一環として、KOAは南信工短大の支援に加え、中高生の職場体験を積極的に受け入れています。

⑪ 郷土愛を育む

子供たちが自分が育ったふるさとの魅力を知らないまま大人になり郷里を離れていってしまうことは、地域にとって大きな損失です。KOAは伊那谷の産学官と協同して、子供たちが地域の職業人と出会って地域における職業の話を聞いたり体験できる機会を提供するプログラム「夢大学」など、郷土愛を育む活動に参画しています。

⑫ コミュニティ還元活動

KOAの事業活動は、長年にわたり地域社会から大きな恩恵を受けています。伊那谷に伝わる風習や知恵に敬意をはらい、自然とともに生きるための技やしくみを大切に守って次世代に伝えていく伊那谷財団も、大切な活動のひとつです。

まあ～るい地球の変化の中で

企業の事業活動は、幾ばくかの影響を地球に与えます。ならば、その影響を最小限にとどめ、地球の営みとの調和を図ることは、持続的な企業経営にとって必須の条件です。

企業経営に「地球」という言葉が使われるようになったのは、比較的最近のことですが、KOAは約30年前から「地球あっての人類、人あっての経営」であるとの認識のもと、社内環境リスクの低減、循環型地域社会のモデルづくり、社内外での人材育成に取り組んでいます。

森と暮らしをつなぐモデルづくり

私たちの周りにある里山は、人が手入れを続けないと荒廃していきます。KOA森林塾では、身近な森の手入れ方法を学ぶ塾を開催し、多くの人に技術を伝承してきました。

伐った材に価値が付かず資源として活かさないことも森の手入れが進まない一因となっています。こうあ木工舎では、地元産の間伐材・木材の風合いを活かしながら家具や生活雑貨、内装材を製品化して暮らしに取り込む生活を提案しています。

森と暮らしをつなぐことで森が価値を生み、さらに整備が進む好循環を促進していきます。

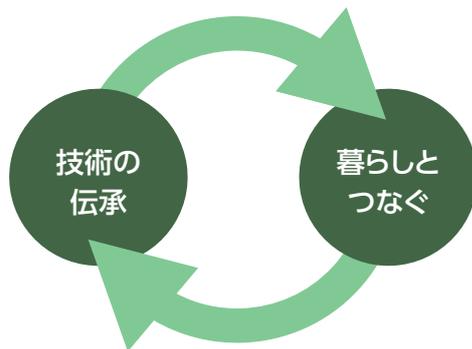
KOA森林塾



間伐



搬出



こうあ木工舎



材の特性を活かす職人の手仕事



家具



壁材・床材

⑬ 社内の環境リスク低減活動

KOAの事業活動が地球に与える影響を最小化するため、ISO14001：2015版に準拠したマネジメントシステムを「おてんとうさま」という愛称で運用しています。事故予防、省資源、省エネ活動で環境リスクの低減を図るほか、製品やサービスを通じた持続可能な社会への貢献を積極的に進めています。

⑭ 自然環境と調和した工場建設

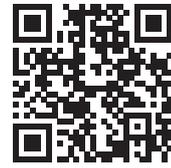
1992年竣工の匠の里では、生息していたギフチョウを呼び戻すために食草のヒメカンアオイが育つ雑木林を敷地内に社員の手で復元しました。それ以降建築された工場でも、立地する地域の自然環境や伝統文化と調和する建設に努めてきました。

⑮ 循環型地域社会のモデルづくり

KOAの事業所はそれぞれの所在地の特性を活かして地球との調和を目指します。伊那谷においては、天竜川水系を舞台に地域の皆様と力を合わせて、循環型社会のモデルづくりに取り組んでいます。1999年に始まったINAコピー用紙循環システムでは、地域の企業・団体と協同してオフィス古紙の回収・再生に取り組み、これまでに再生したコピー用紙298トン、積み上げると富士山の2倍の高さに達します。

本書でご紹介した取組み内容の他にも、さまざまな情報をホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.koaglobal.com/ir/surveyinfo>



QRコード

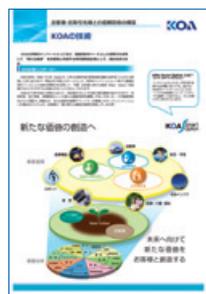
5つの主体についての動画

5つの主体との信頼関係の構築というミッションはどのようにして生まれたかお伝えするプロローグ篇や5つの主体に関係する皆様のインタビューを通じて、さまざまな角度からKOAの企業価値についてご覧いただける動画を掲載しています。



KOAらしさ報告書 詳細版

本書だけでは紹介しきれないKOAの多岐にわたる活動をテーマごとに紹介する詳細版を公開しております。



KOA株式会社

〒399-4697
長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内アースウイング

TEL.0265-70-7171
FAX.0265-70-7711
URL <http://www.koaglobal.com>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

